

平成 25 年度 第 1 回 市長と語ろう！タウンミーティング 議事録

開催日時 平成 25 年 6 月 18 日（火） 午後 7 時～8 時 30 分

開催場所 福原公民館

参加者 市民 20 人

《フリートーク（意見交換）》

- 1 青少年育成笠間地区市民会議の存続について
- 2 高齢者の購買支援について
- 3 いなだ保育所駐車場所の変更について
- 4 田上・鍛冶屋間道路の整備について
- 5 103 区中心道路の整備について
- 6 福原駅前道路の整備について
- 7 選挙における議員の住所公表について
- 8 観光面からみた笠間西インターの集客効果について
- 9 笠間市総合計画における福原地区の位置づけについて
- 10 託児制度の充実について
- 11 NHK ラジオ体操健康づくり市民大会の継続について
- 12 公民館の備品購入費について

《内容》

1 青少年育成笠間地区市民会議の存続について

【意見等】

平成 18 年の市町村合併を機に各地区の団体も統合することとなり、岩間地区の青少年育成会とは何度も会合を開き、青少年育成会がなかった友部地区に会を立ち上げてもらおうという時になって、市から笠間地区は解散してくれないかとの話が出た。そのことについて、平成 22 年 3 月に笠間地区で協議したところ「存続したい」との意見だったので、会は存続したいと考えるが、市はどう考えているのか。

【回答】

市では、「行政が一つになったので、各団体も一つになってください」というお願いを各団体の方々にしました。3 地区の団体が一度解散して新たに一つの団体を立ち上げたり、3 地区の団体の連合会形式で一つの団体にしたりと、一つの団体に統合するにはいろいろな方法があります。統合の方式は団体によってさまざまです。当時、青少年育成笠間地区市民会議の方々に、どのように伝わったのか、今は詳細が分かりませんが、解散などは申し上げてないと思いますし、また、解散する必要もありません。統合することが難しければ連合会形式にして、地区の活動は今までどおりにやるなど、団体の中で調整してください。

また、今まで多くの団体の事務局は役所が担っていましたが、役所の組織が大きくなった今は、団体の活動は自主独立で行っていただきたいと考えています。市では、公的な団体に補助金を出したり、活動をする上で連絡調整のお手伝いをしたりすることが、役所と団体の本来の関係だと思っています。

青少年育成会の方々には一つの大きな団体になってもらい、底力をつけていろいろな活動に取り組んでもらいたいと思っています。

2 高齢者の購買支援について

【意見等】

福原地区には、駅前に大きなスーパーがなく、買い物には岩瀬に行くか笠間市街地に行くかしかない。高齢者が出かける場合、車を運転するのは危険なのでデマンドタクシーを使うこともあるが、買物のために毎日利用するにはお金がかかる。スーパーをつかって欲しい訳では

ないが、高齢者ために買い物ができるような方法を考えて欲しい。

【回答】

高齢化が急速に進み、現在、笠間市の25%は65歳以上です。笠間地区は合併以来、約2,300人の人口が減少しています。ひとり暮らしの高齢者、高齢者だけの世帯、空き家などが、農村部を中心に増えてきています。これらの課題は、行政の大きな課題の一つですが、80~90歳の中にも、元気な方や少し手助けをすれば生活できる方がたくさんいらっしゃいます。大切なことは、元気な高齢者の見守り体制をどうするか、生活の支えの部分である買い物をどうサポートしていくかです。デマンドタクシーだけですべてが補えるとは考えていませんが、公共交通の一役として考えて欲しいと思います。

移動手段など、すべてを行政で支えていくのは難しい部分もありますので、行政が民間や団体と協定を結ぶなどして、見守り体制をさらに充実させていくことが大事だと考えます。日用品の買い物については、民間の移動販売などを積極的に誘導していくことも必要だと思っています。

3 いなだ保育所駐車場所の変更について

【意見等】

稲田川沿いにある駐車場は、保護者と園児が駐車箇所を横切って建物に出入りしているのも、とても危険な状態である。建物や歩道側へ変更してほしい。

【回答】

車が停めやすく安全な場所を保育所に聞いて検討し、後日連絡します。

4 田上・鍛冶屋間道路の整備について

【意見等】

田上地区まで土地改良の換地で2車線の道路ができているが、鍛冶屋までの間が整備されていない。道路が建設されれば2車線の道路になるだろうが、いつ予算化されるのか。

【回答】

道路の改良については、特に田上地区から多くの要望がありましたので、今年の夏以降に測量を行います。工事の着工時期についてはまだ決まっていません。

実際の交通量調査も必要なので、道路幅についてはよく検討させてください。測量してみないとわかりませんが、12m道路を造るより、車が通行できる道幅をとるという方針でいますので、ご理解いただきたいと思っています。また、ずい道の現状は変えられませんが、ずい道に沿った路線も含めてよく検討していきます。

5 103区を中心道路の整備について

【意見等】

103区を中心道路は、幅4m未満の道路でデコボコしていて、車もすれ違えないような状況である。道路は4m以上でないと舗装できないのか。4mを確保するには、両方の地権者の同意が必要で地区外の地権者もいて、同意を得るのが困難なので現状の幅員で整備してほしい。道路の舗装整備が、幅員4mという基準を緩和して整備してほしい。

【回答】

原則からお答えすると、道路の舗装整備は4m以上、U字溝敷設も含めると4.5m以上の幅員が必要です。しかし、家が両側に並んでいて道を広げられないような場所は、やむを得ないということで過去に舗装整備を議論した経緯がありました。

今後の道路整備を考えると、生活道路の充実や排水整備などに重点をおいていこうと考えておりますので、農地、宅地に関わらず、皆様の用地協力をいただいて、消防車や救急車が入れる最低限の幅である4mを確保してもらいたいと考えます。

しかし、この原則論の一方では、4m未満の道路はいつまでも舗装されず、未整備のままになってしまうので、もっと道路整備について勉強し、検討していきます。

6 福原駅前の整備について

【意見等】

福原駅前の橋の欄干は、U字溝の上を水が流れてどうしようもない。すぐ整備してくれるという話だったがどうなったのか。

また、宍戸駅と福原駅だけ、整備計画がないという話もある。福原駅は出雲大社への道案内や吾国山への道案内などをきちんと整備してもらいたい。

【回答】

時間がかかるものもありますが、一つ一つ進めていきます。

7 選挙における議員の住所公表について

【意見等】

市役所で議員さんの住所を公表できないかと聞いたら「公表できない」と断られた。市長や議員の住所は、ポスターや広報紙などに出さないものなのか。

【回答】

選挙に出る場合、自分をPRする目的で生まれや経歴プロフィールを配布することが普通です。しかし、名簿として議員の住所は公開していません。公表しない何らかの理由はあると思いますので、確認します。

8 観光面からみた笠間西インターの集客効果について

【意見等】

北関東自動車道が開通し、笠間西インターができたが、福原地区には観光施設がないので、観光客を誘致することができず、ただの通過点になってしまう。茨城交通の「関東やきものライナー」も、益子や大洗に観光客を流してしまっているのではないかと。笠間焼や笠間芸術の森公園など笠間市街地ばかりでなく、福原地区にも観光客誘致を考えてほしい。

【回答】

「関東やきものライナー」の運行により、益子に観光客をとられたのではないかとという意見は何件かいただきます。

これまで益子町と笠間市、益子焼と笠間焼の連携というのは何もありませんでした。しかし、茨城交通では、関東の2大焼物産地を連携することによる相乗効果を発案し、「関東やきものライナー」の運行を始めました。これにより茨城県と栃木県の連携や観光協会どうしの交流が生まれ、お互いのイベントで物産展などを展開しています。

平日の利用者の中には、笠間で降りる方が少ないです。しかし、土日はかなり多くなってきました。2つの焼物産地の競争と連携は、これからさらに進んでいくと思っています。実際につつま祭りや陶炎祭などの大きなイベントのときは、群馬・栃木ナンバーの車が以前より多くなっているという事実があります。

稲田・福原地区の観光については、稲田駅から石山の観光、西念寺をハイキングコースなどの整備を検討しています。

9 笠間市総合計画における福原地区の位置づけについて

【意見等】

笠間市の総合計画は、何年度から何年度までなのか。福原の駅前が寂れたという話があるが、総合計画の中での福原地区はどのように位置づけられているのか。また、住宅団地の用地が民間に売却されたことも含めて北関東道インターの今後の計画があったら聞かせて欲しい。

【回答】

現在、市が進めている「笠間市駅周辺整備活性化プラン」は、主に稲田駅、友部駅、岩間駅を中心に計画しています。全ての駅を同時に整備していくことはできませんので、最初にこの3つの駅をやろうと思った理由は、駅の近くに公共の用地があったからです。

また、稲田駅については少しの公共用地しかありませんでしたが、計画段階で石の100年館寄付の申し入れがあり、駅が整備されてできた空き地を利用して石の100年館を移設し、周り

の整備もしようということで稲田駅がプランに入りました。福原駅の周辺を今後どうするかは、これからの市の課題です。総合計画は、福原地区・稲田地区・宍戸地区などの地区単位に分けておりませんが、駅の活用については今後、検討していきたいと思っています。

次に、北関東道のインターについてですが、建設当時はさまざまな計画がありました。しかし、なかなか思うように進まず、インター＝地域開発ということが必ずしも結びつかなくなったのだと思います。

また、住宅団地の整備されなかった部分は、「古宿会」という医療法人が購入しました。医療法人なので、クリニックを開業するという期待を持って話をしていますが、今の時点では白紙とのことです。

10 託児制度の充実について

【意見等】

PTA の役員などをしていると、夜間の会議などがあり、その時に子供を預けることができない場合がある。託児チケットを市が発行し、それを料金の代わりとして託児制度に利用してみてもどうか。そうしたシステムができれば、子育て世代でもさまざまな活動に取り組みやすくなる。

現在、試験的に各幼稚園などと調整して、運動会やお祭りの売り上げを託児費用に充てられるようなチケット制を行っている。費用対効果など確実な結果がでたら、市として取り組めないだろうか。また、民間を活用できないかなども検討してもらいたい。

【回答】

一時預かりについては、ファミリーサポートセンターが対応しています。しかし、預かる側の人数が100人に満たない状況であり、近所の人が登録しているとも限りません。また、他人のお子さんを預かることに、慣れている人でないとなかなか難しいという現実もあります。試験的に取り組んでいच्छる活動の結果がでましたら、お知らせいただきたいと思ひます。

11 NHKラジオ体操・健康づくり市民大会の継続について

【意見等】

「NHKラジオ体操・健康づくり市民大会」により、一人暮らしの高齢者が交流する機会ができ、ラジオ体操程度の運動なら、参加する機会ができてくるのではないかと思う。これからもこういった取り組みを続けてほしい。

【回答】

単発にならないためにも、企業などにも声をかけて健康づくりをすすめていきたいと思ひます。

12 福原公民館の備品購入費について

【意見等】

福原公民館のいすやスリッパなどの備品は、市で予算を取って用意してほしい。

【回答】

必要最低限の備品は市で買ひます。各公民館にも備品整備については話します。